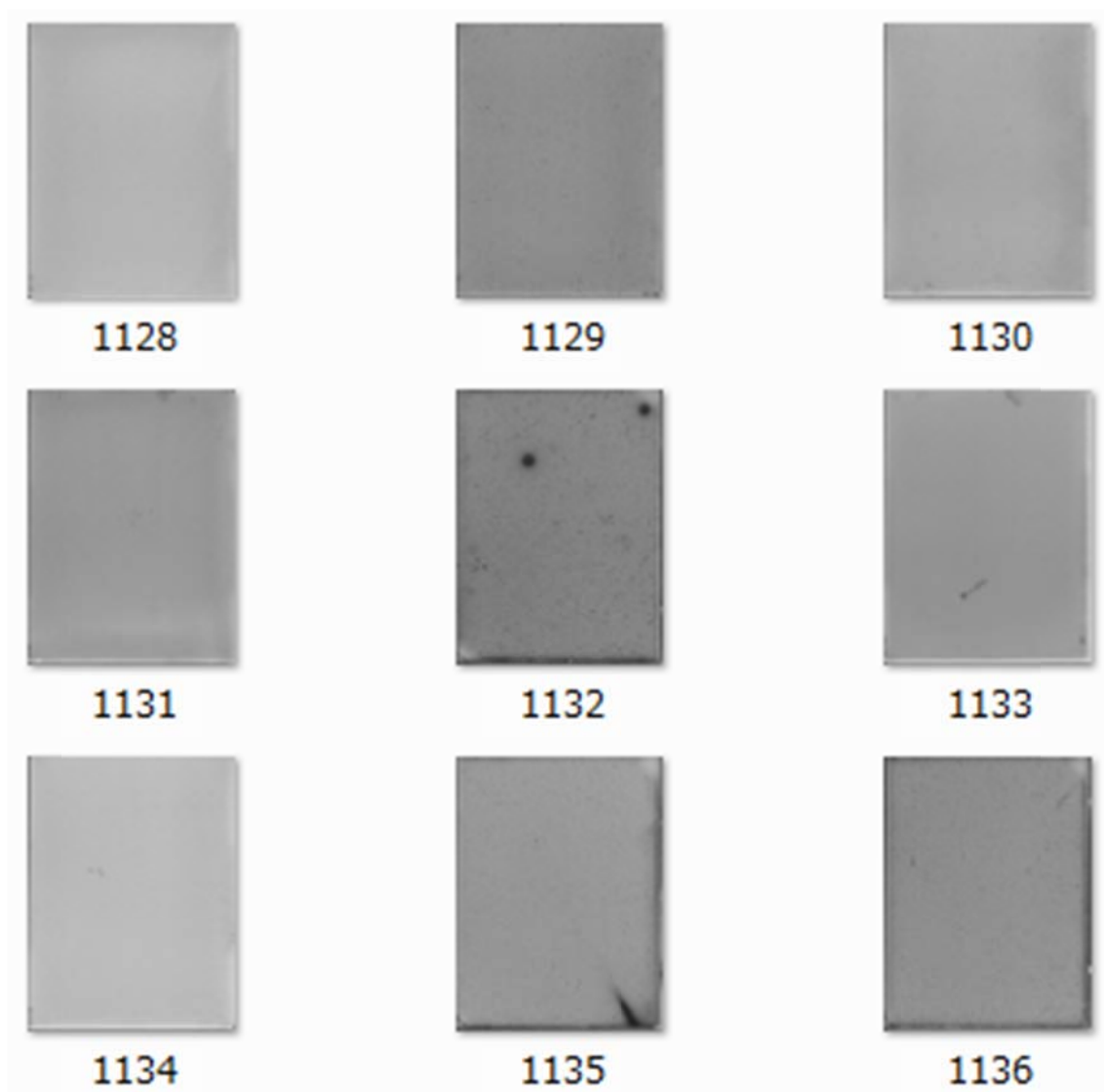
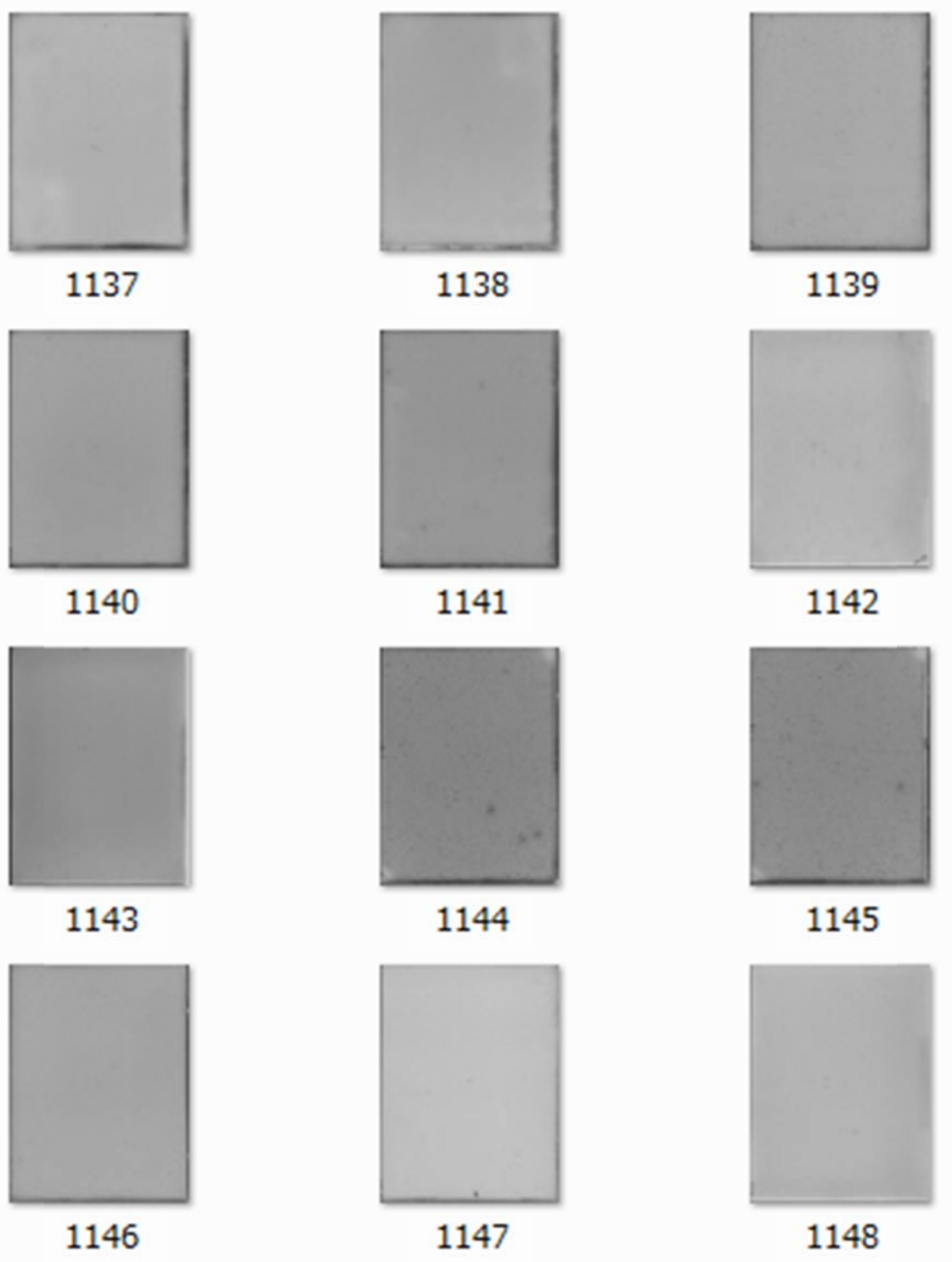


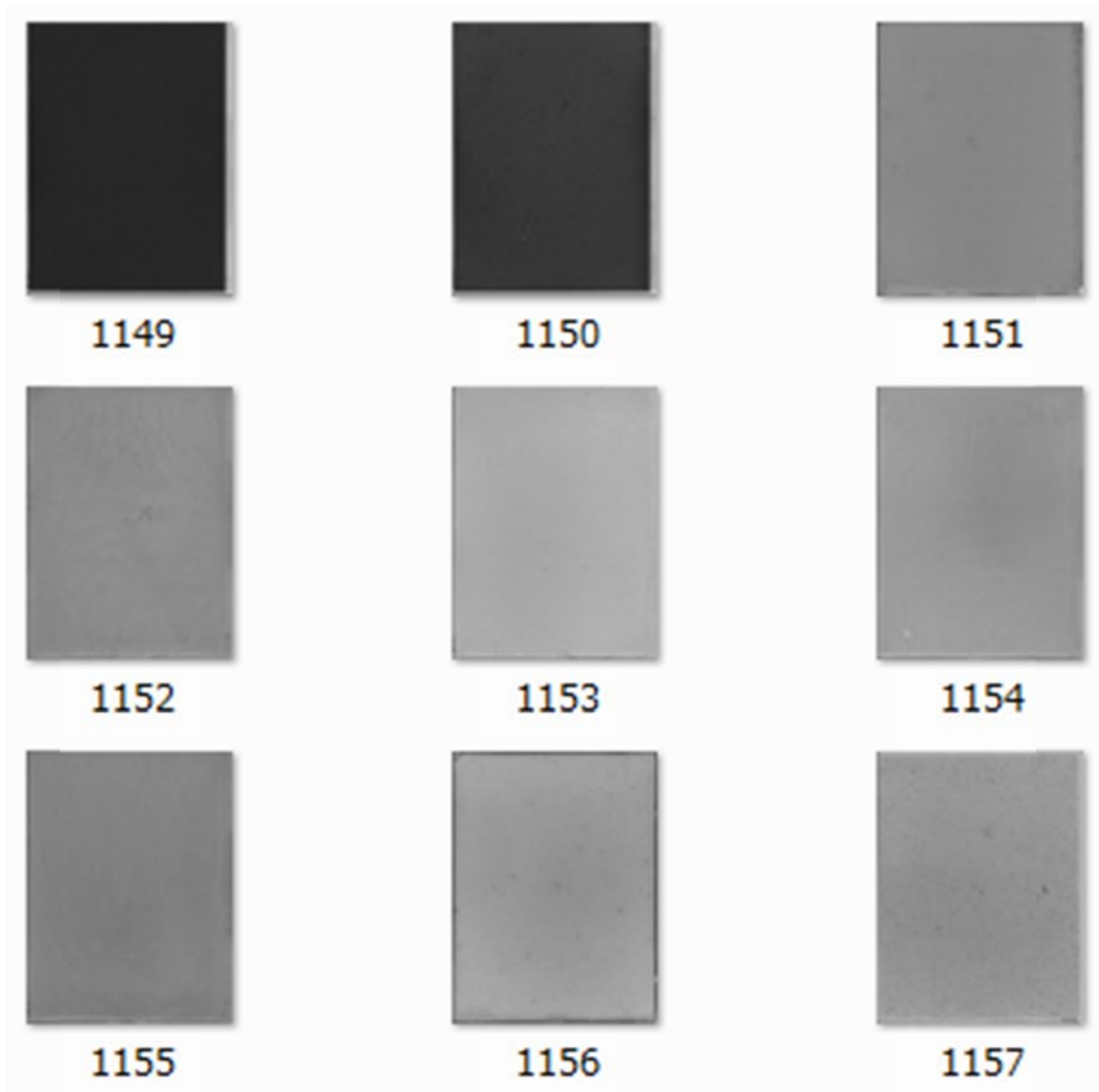
**\*ブラッシャー天体写真儀の乾板画像取り込みーその2ー (1128~1157)**

アーカイブ室新聞第511号(2011年7月6日)に「ブラッシャー天体写真儀の乾板画像取り込みーその1ー(526~1127)」という記事を書いた。今回はサムネイルを少し大きくプリントする方法で次の箱の30枚を取り込んでみた。これで乾板の様子が少しは分かるようになったと思う。ブラッシャー天体写真儀の乾板のデジタルデータとして取り込むかについてはまだ十分議論されていない。しかし、今までこの写真乾板が利用されなかった原因の一端はデジタルデータ化されていなかったことにもよると考えている。このデジタルデータとして取り込む作業が膨大で不可能かというところでもなさそうである。





市販のスキヤナーで文書ファイルのグレースケールで取り込むというだけなら、30枚の乾板を25分程度で読み込める。そして読み込んだ乾板のプリントをつくってみると撮影された天体の状態を見るには十分であることが分かる。この方法で全ての乾板のデジタルデータとして提供することが出来るのではないかと考え始めた。



参考までに、紙面の都合で乾板 No. 1145 の部分をプリントしたもの（写真 1）をお見せし

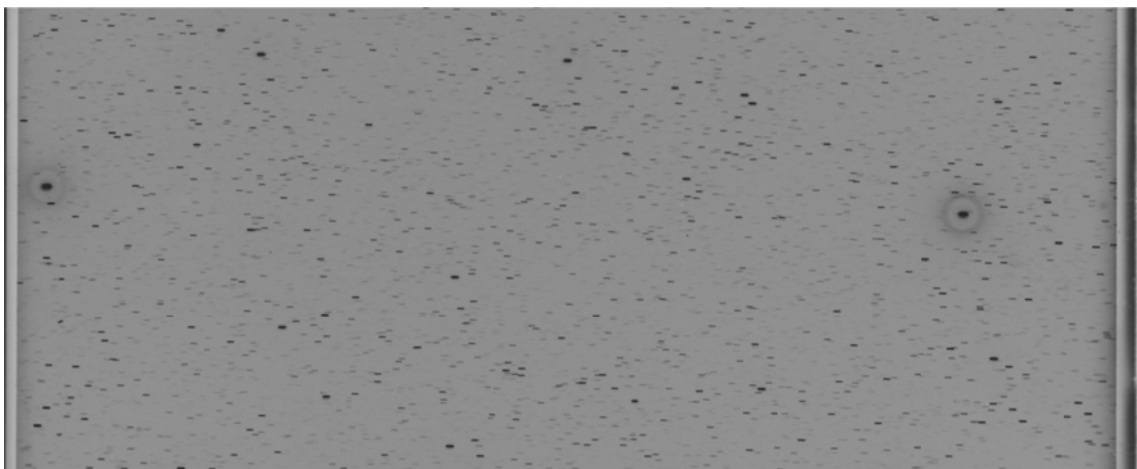


写真 1 乾板 No. 1145 の部分

たい。写っている天体の様子を見るには十分であることが分かる。

次に、乾板 No. 1132 の全体をプリントしたのが写真 2 である。この方法によるデジタルデータとして取り込むことでどうであろう。

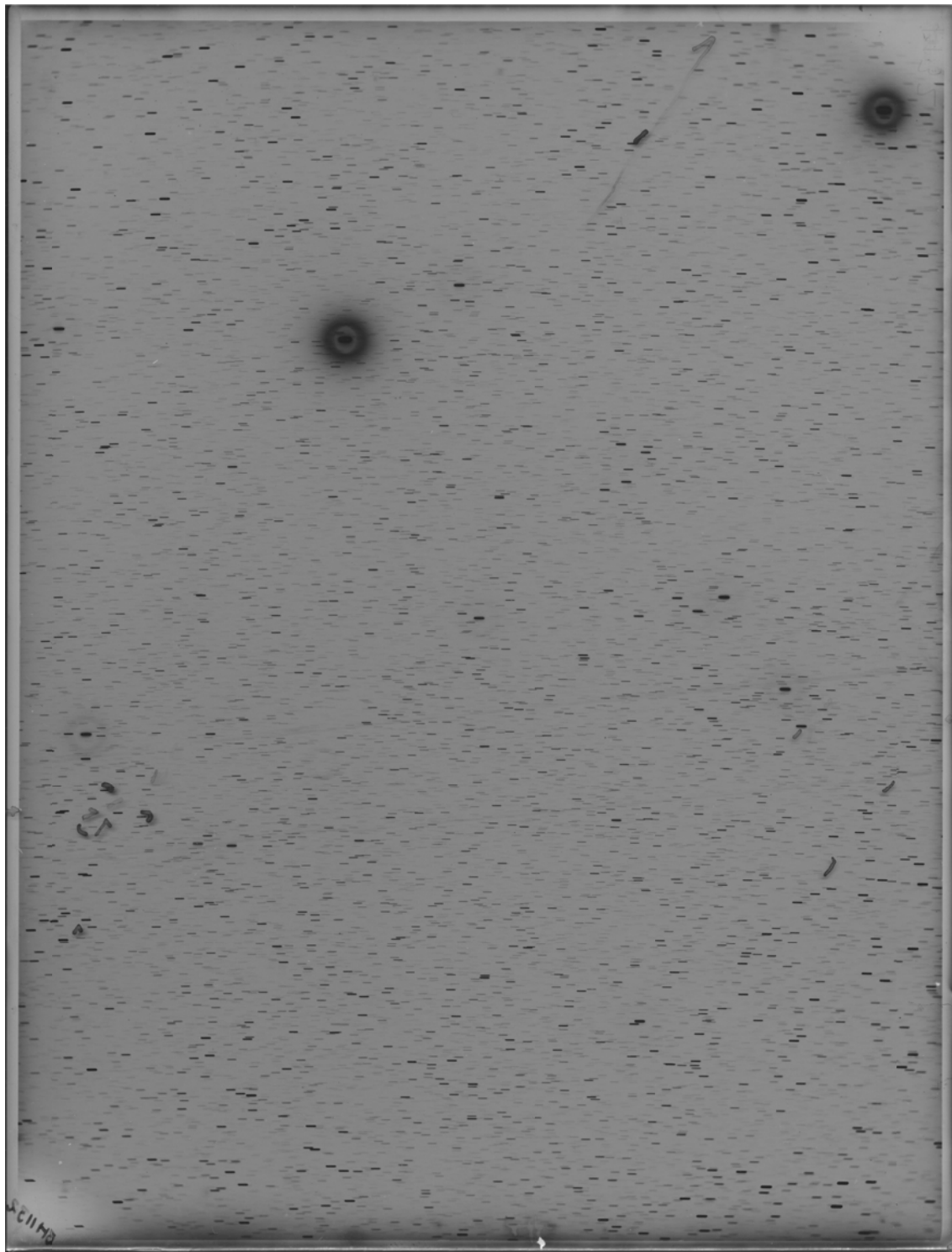


写真 2 乾板 No. 1132 の全体

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)